

スタッフのみなさん、ありがとうございました。

昨年末、みなさんに「北長瀬コミュニティフリッジ」への「クリスマスプレゼント用のお菓子」の提供をお願いしました。その事務局の方からお礼のメールが、医労連を通じてこちらにも届きました。

こんにちは

北長瀬コミュニティフリッジ事務局の三宅です。

いつも北長瀬コミュニティフリッジへの温かいご支援、誠にありがとうございます。クリスマスのお菓子を23日～25日にわたってコミュニティフリッジ内でお届けしました。今年も400名近いお子様にお菓子をお渡しすることができました。

### お母さんたちからのお礼のメッセージ、いくつか紹介です

- ※ 準備してくださった方々、感謝いたしています。本当にありがとうございました。皆様の優しさのおかげで、今日は私たちも幸せに過ごせます。皆様も幸せなクリスマスをお過ごしください。
- ※ クリスマスのお菓子、ありがとうございます。子どもたちとても喜んで笑顔になれて、素敵なクリスマスになりました。本当にありがとうございました。
- ※ 開けてみてたくさんのお菓子里びっくり。お菓子を提供くださった方、仕訳をしてくださった方、感謝の気持ちでいっぱいです。
- ※ お腹も心も満たされました。本当に助けられています。ありがとうございました。

北長瀬コミュニティフリッジは、食料品・日用品の支援を必要とされる親子が、時間や人目を気にせず、24時間都合が良い時に提供される食料品・日用品を取りに行ける仕組みです。

1月13日の朝日新聞一面に紹介されています。

2025年あけましておめでとうございます。

スタッフの皆さんの引き続きのご活躍を心から祈念しています。

今年の幕開け、コロナとインフルエンザの感染が広がっています。

時には、インフルエンザに感染して回復後、今度はコロナに感染、という方もおられると聞いています。

お互い、健康に留意して利用者さんに寄り添う支援をよろしく願いいたします。

ある利用者さんは、鼻水等の症状があった時、体温は36.8度。それでもコロナに感染していました。

## 令和6年第52週（12月23日から12月29日）の岡山市感染症発生動向

### インフルエンザ

令和6年11月21日に県下全域に「インフルエンザ注意報」が発令されましたが、第51週（12月16日から12月22日）には岡山県の定点当たりの患者報告数が30人を超過し（31.95人）、流行時期等から今後も患者増加の可能性のあることから、令和6年12月26日に県下全域に「インフルエンザ警報」が発令されました

第52週の報告は1389件（定点あたり63.14）でした。（第51週の報告は667件（定点あたり30.32））過去には、2003/2004年シーズンに56.2、2004/2005年シーズンに60.1、2014/2015年シーズンに定点あたり56.4の報告がありましたが、今シーズンはそれを上回り、過去20年間でも最も多い報告数となっており、大きな流行が起きています。

### 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

第52週の報告は78件（定点あたり3.55）でした。（第51週の報告は64件（定点あたり2.91））年末まで、全国では5週連続、岡山県では8週連続で定点当たり報告数が増加しており、今後の感染拡大が懸念されます。

## 改めて感染対策

・・・コロナは2023年5月8日に5類へ移行。県からの県民・事業者へのお願い・・・

5月8日以降、新型コロナ患者は、法律に基づく外出自粛は求められません。外出を控えるかどうかは、個人の判断に委ねられます。その際、次の情報を参考にしてください。

- 周囲の方や事業者におかれても、個人の主体的な判断が尊重されるよう、配慮をお願いします。
- 医療機関や高齢者施設等においては、次の情報を参考に、新型コロナウイルスに罹患した従事者の就業制限を考慮してください。なお、高齢者施設等については、**重症化リスクを有する高齢者が多く生活することも考慮してください。**
- また、**感染が大きく拡大している場合には、一時的により強いお願いを行うことがあります。**
- 特に**発症後5日間で他人に感染させるリスクが高い**ことから、発症日を0日目として5日間は外出を控えること（この期間にやむを得ず外出する場合でも、症状がないことを確認し、マスク着用等を徹底してください）
- 5日目に症状が続いていた場合は、熱が下がり、痰や喉の痛みなどの症状が軽快して24時間程度が経過するまでは、外出を控え様子を見るのが推奨されます。症状が重い場合は、医師に相談してください。
- 発症日を0日目として10日間が経過するまでは、ウイルス排出の可能性があることから、不織布マスクを着用したり、高齢者等重症化リスクの高い方と接触は控える等、周りの方へ感染させることがないように配慮しましょう
- 発症後10日を過ぎても咳やくしゃみ等の症状が続いている場合には、マスクの着用など咳エチケットを心がけましょう

※インフルエンザに感染した場合も、発症日を0としてその後の5日間を自宅待機とします。それでも治癒されない場合もあるかと思えます。症状を管理者さんに伝えていただき、出勤日を考えてください。

**コロナとインフルの感染予防対策、以下の内容、改めて確認しあってください。**

- 1、基本的予防として、スタッフと利用者さんの「手洗い・消毒・マスク・換気」を引き続き徹底してください。
- 2、出勤前、迎えの車に乗る前に体温をはかり、ホームへくるかどうかを判断してください。記録も引き続きとってください。特に風邪症状の聞き取りは大事です。
- 3、利用者さんへの面会は、感染対策をきちんとして、短時間（10分程度）、距離を確保して、対応してください。面会場所は、デイルーム以外で工夫してください。
- 4、感染しても重症化はそれほどでもない、という楽観視は危険です。感染が広がれば重度の利用者さんが感染してもなかなか入院ができない場合が発生するなど、危険度は社会的条件で変化していきます。